

2005年9月23日（金）★主催者催事

キャンドルナイト

主催：地球市民村事務局

大地の広場を中心にキャンドル職人の手による大きなろうそくが灯され、地球市民村を包み込みました。ライブや9月出展団体のオープンマイクを行い、村の夜を彩りました。来場者の方々に、竹を斜めに切って作ったろうそくの入れ物に、それぞれの「想い」を書いてもらい、ろうそくを灯しました。それぞれの「想い」が、ろうそくとともに光り輝いていました。20時から30分間、村中の人工的な電気が消され、ろうそくの灯のみになりました。透き通った鐘の音とともに3分間の黙祷。ギターの音色が聞こえ始め、9月出展団体による、若手ボランティアスタッフの「ここから始まる自分」の朗読。愛・地球博、そして地球市民村にスタッフとして関わり、それぞれが様々なことを感じたはず。そんな感動や体験あり、そしてこれから自分はどうするのか。そんな「想い」の朗読。暗闇とろうそくの灯がそうさせるのか、言葉が体に染み入りました。

そして、自分の周りにお互い知らない人との対話。同じ時間を共有する人と話ができる空間。暗闇とろうそくの灯は、そんな素敵なプレゼントをしてくれました。世界中にこんな空間が広がったら素晴らしい。そんな気にさせてくれました。

ここから始まる自分

ここから始まる自分

「伝える」ってことは、難しい。でも、楽しい。
言葉に想いをのせて、相手に届けよう。
態度に想いをのせて、相手に届けよう。
表情に想いをのせて、相手に届けよう。

子どもって、なんてかわいいんだろう。
そんな子ども達、環境のことを良く知っている。嬉しいびっくり。
僕ら大人が、“夢”を持って、生き生きと、楽しく、
子ども達が憧れる大人になろう。

「笑う」ってことは、大切なことだ。
環境のこと、笑いながら楽しくやろう。
笑い声の聞こえるところには、人が集まってくる。
真面目に難しく環境のこと考える時間も大切。
環境のことやるときはやっぱり、笑って楽しくがいい。

環境のこと、スマートにカッコよくやろう。
スマートでカッコいいものには、人が集まってくる。
エコなコトが流行る、エコなヤツがカッコいい、そんな世の中にしてやろう。

「環境」をキーワードに、多くの人が繋がる、地球市民村。
この輪を、もっともっと広げていこう。
もともと地球市民な僕らが、
地球市民であることを思い出させてくれた、地球市民村。
僕は今、そんな素敵な場所にいる。

子ども達が憧れる大人になろう。
言葉に想いをのせて、相手に届けよう。
態度に想いをのせて、相手に届けよう。
表情に想いをのせて、相手に届けよう。
想いを相手に、届けよう。（作・原田卓）



「ここから始まる自分」朗読する原田君



ろうそくの灯りの中でのイベント